

ステンレス棚柱 石膏ボード用固定パーツ 施工・取扱説明書

必ずお読みください

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

本社 〒760-0067 香川県高松市松福町1-15-10

首都圏営業 グループ	首都圏 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3621	FAX (087) 825-3645
東日本営業 グループ	北海道・東北営業チーム	TEL (087) 825-3632	FAX (087) 825-3695
	関東甲信越営業チーム	TEL (087) 806-3660	FAX (087) 825-3645
	中部営業チーム	TEL (087) 825-3622	FAX (087) 825-3646
西日本営業 グループ	近畿営業チーム	TEL (087) 825-3623	FAX (087) 825-3647
	中四国営業チーム	TEL (087) 825-3624	FAX (087) 825-3648
	九州営業チーム	TEL (087) 825-3625	FAX (087) 825-3649
特需営業 グループ	特需 第1・2・3チーム	TEL (087) 825-3662	FAX (087) 825-3669

- ご使用になる前に必ずこの「取扱・施工説明書」をご一読いただきますよう、お願いいたします。
間違った施工・取り扱いを行ないますと製品の品質劣化や人への損傷につながる可能性があります。本書にそわず施工・取り扱いを行なった場合については、当社での保証はしかねますのでご注意ください。
- お読みになったあとは、大切に保管し必要な時にお読みください。

警告表示の種類と内容

人身事故や財産の損害を未然に防止するために、製品の取り扱いについて次のような警告表示をしています。内容を、ご理解の上、正しく安全にお使いください。

誤った取り扱いをした場合に生じる危険とその程度を、説明しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いを行なうと使用者などが傷害(※1)を負うことが想定されるか、物的損害(※2)の発生が想定される危害・損害の程度を示す。
(※1) 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、ケガ・やけど・感電などをさす。
(※2) 物的傷害とは、家屋・家財に関わる拡大損害をさす。

本文中に使われている図記号の意味は、次のとおりです。



「必ず行なっていたいただくこと」を示します。



注意



- 耐荷重の目安値よりも重いものをのせない。
誤ったご使用方法による事故・破損に関しましては、責任を負いかねますのでご注意ください。
(「耐荷重の目安値」をご参照ください。)

ご使用上のお願い



- 製品に直接水をかけない。
屋外でのご使用は避けてください。
屋内の直接水がかからない場所でご使用ください。

耐荷重の目安値

30kg

- 本製品で棚柱を設置した際の棚柱4本に対する耐荷重値は総重量で30kg以内です。ご使用の際にご注意ください。
- 上記は耐荷重の目安値であり保証値ではありません。

ご注意

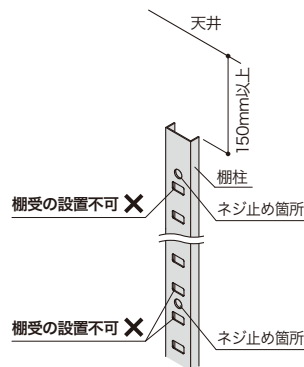
記載の耐荷重値は等分布荷重の場合の値です。
また、棚板についてはアートランバー(弊社製品)を使用した場合の計測結果をもとにしております。それ以外の条件にてご使用の場合はこの限りではありません。

パーツセット明細

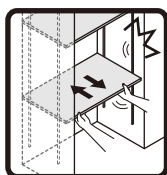
ピン固定パーツ	ピン打ち工具
	
7袋	1個

注意事項

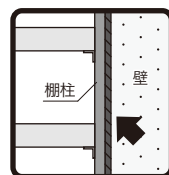
- 棚柱は、天井から150mm以上離して施工してください。固定パーツにピンが打ち込めない可能性があります。
- 棚受は、ネジ止め箇所の上下1穴離して取り付けてください。



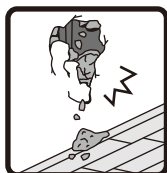
免責事項



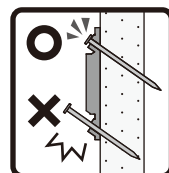
棚柱本体を故意に揺すったり、横方向から過度な衝撃を与えたりしないでください。



製品の特性上、通常に施工した状態でも、棚柱と壁面に多少の隙間が生じる場合があります。ご理解の上設置願います。



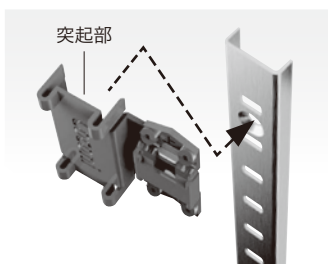
石膏ボードの劣化による不具合については責任を負いかねます。
棚柱の取り付けを行なう前に必ず壁の状況確認を行ない、劣化のおそれがある場合は、必ず下地補強を行なってください。



ピンの緩みは落下につながるおそれがあります。確実に打ち込んでください。

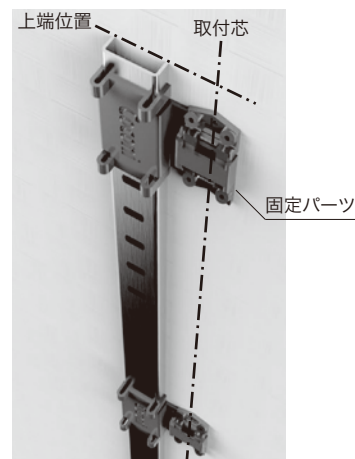
1 棚柱にパーツユニットをセット

パーツ裏面の突起部を棚柱の皿穴に完全に刺さるまで押し込みます。
すべての皿穴に取り付けてください。



2 壁面に棚柱を仮止め

棚柱の上端位置と取付芯を位置出しのうえ、養生テープなど(壁紙を傷めないもの)で壁に仮止めします。
壁側の取付芯に固定パーツの芯を合わせてください。



3 棚柱にパーツユニットをピンで固定

- 固定パーツの穴の角度に沿ってピンを斜め下向きに差し込みます。
※1箇所あたり4本



- 専用工具または小型ハンマーなどでピンを軽く叩きながら固定パーツに当たる位置まで打ち込みます。

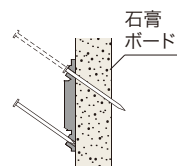
【注意】

誤って手や壁面を叩かないようご注意ください。

ピン打ちが終わった状態



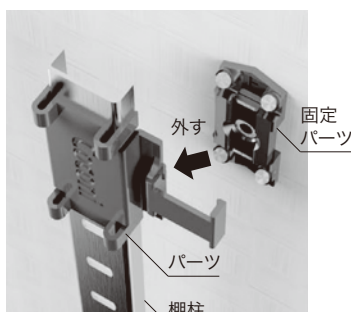
【ピン固定部 断面図】



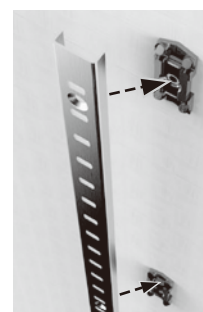
- 同じ要領ですべてのパーツをピンで固定します。

4 棚柱を固定パーツにはめ込む

- 固定パーツから棚柱とパーツを取り外します。



- 棚柱からパーツを取り外した後、棚柱を固定パーツの穴位置に合わせてすべての固定パーツに被せる要領でしっかりとはめ込みます。



【注意】

取り外した棚柱は、上下方向も変えずに元通りの固定パーツに再度取り付ける必要があります。
特に棚柱を複数本使用する際は、目印などをつけて取り付け位置を間違わないようにしてください。

5 完了

棚柱をネジ止めすれば設置完了です。

